

(中国本土) 企業の外債枠が純資産の3倍まで拡大

2023年7月20日付けで、中国人民銀行及び国家外貨管理局は、クロスボーダー融資のマクロプルーデンス政策因数の調整を公布し、マクロプルーデンス管理モデルにおけるマクロプルーデンス政策因数を1.25から1.5に引き上げました。これにより、マクロプルーデンス管理モデルを採用し外債調達を行う企業は、域外（香港等を含む）非居住者からの債務枠（以下、「外債枠」という）が純資産の2.5倍から3倍に拡大されます。

今回マクロプルーデンス政策因数の調整の目的は、クロスボーダー資金調達のマクロプルーデンス管理を一段と改善し、企業及び金融機関の中国域外からの資金調達力を上げ、外資利用の余地を拡大することで企業の資産負債構造を最適化へと導くことにあります。

なお、同様の目的で、2022年10月25日付け銀発〔2022〕238号により、マクロプルーデンス管理モデルにおけるマクロプルーデンス政策因数を1.00から1.25へ引き上げておりました。（前回の内容についてはニュースレターNo.172をご参照ください。<https://www.faircongrp.com/news/letter/9402/>）

国内企業が「マクロプルーデンス管理」モデルにて外債を利用する際の外債枠を計算する方法は下表をご確認ください。

外債枠	クロスボーダー融資リスク加重残高上限 = 企業の純資産額 × レバレッジ率 (2.0) × マクロプルーデンス政策因数 (1.25→1.5) 例えば、純資産が10の会社であれば、外債枠は10 × 2.0 × 1.5 = 30となります。		
外債枠管理	枠内外債利用額 = Σ外貨・人民元融資残高 × 期限リスク因数 × 類別リスク因数 + Σ外貨融資残高 × 為替リスク因数		
	リスク因数	区分	因数
	期限リスク因数	中長期 (1年超)	1
		短期 (1年以内)	1.5
	類別リスク因数	オンバランス融資	1
		オフバランス融資	1
	為替リスク因数	—	0.5

マクロプルーデンス管理モデルでの管理は2016年から全国展開されていますが、投注差管理モデルにより外債を活用していた会社がマクロプルーデンス管理モデルに切り替える場合、過去の投注差管理モデルでの借入をマクロプルーデンス管理モデルで再計算する必要があります。

なお、今回投注差管理モデルの変更はなく、今後の投注差管理モデルに関する追加政策の展開次第では投注差管理モデルの根拠法令の効力が有効でなくなる可能性がありますので、この点もご注意ください。



フェアコンサルティング中国

(正緯企業管理諮詢(上海)有限公司)

北京分公司 北京市朝陽区東三環北路甲 19 号楼 嘉盛 SOHO 10 層 A058 室 電話：+86-10-8524-0758 担当：粟村 (AWAMURA) 日本国公認会計士 hi.awamura@faircongrp.com	蘇州分公司 蘇州工業園區華池街 88 号 晉合広場 2 号 11 F 1176 室 電話：+86-512-8916-5176 担当：粟村 (AWAMURA) 日本国公認会計士 hi.awamura@faircongrp.com
上海総公司 上海市黄浦区茂名南路 58 号 花園飯店 (上海) 601 室 電話：+86-21-6473-5450 担当：上原 (UEHARA) 日本国公認会計士 ik.uehara@faircongrp.com	成都分公司 四川省成都市成華区双慶路 10 号 華潤大廈 32 層 3201 室 電話：+86-28-6287-7518 担当：上原 (UEHARA) 日本国公認会計士 ik.uehara@faircongrp.com
広州分公司 広州市天河区珠江新城珠江東路 12 号 高德置地冬広場 H 座 1501 室 V80 電話：+86-20-2213-8278 担当：古矢 (FURUYA) 日本国公認会計士 yo.furuya@faircongrp.com	深セン分公司 深セン市福田区深南大道 4019 号 航天大廈 A 座 610 室 電話：+86-755-8252-8290 担当：古矢 (FURUYA) 日本国公認会計士 yo.furuya@faircongrp.com

「FCG 中華圏 ニュースレター」本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板の掲載等はお断りいたします。

「FCG 中華圏 ニュースレター」で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。

フェアコンサルティンググループでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、「FCG 中華圏 ニュースレター」で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、フェアコンサルティンググループ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。